



## 東京芸術劇場

9月14日(月)～22日(火・祝)

入場無料

ギャラリー1 (5F)

### 「戦後池袋～活力の記憶を辿る」

ヤミ市時代の記録や記憶をさまざまな展示でご覧いただけます。厳選した写真パネルのほか、ヤミ市のスケッチ、ジオラマのVTR、ラジオ音源、カストリ雑誌などで当時の世相・文化を紹介するとともに、戦後池袋の記憶と未来を語るギャラリートークを開催します。オープニングではライブ・ペインティングも行い、自由で柔軟な活力に溢れた空気で会場を充たします。

ギャラリー2 (5F)

### 「戦後池袋の住人・江戸川乱歩が視た世界」

昭和9年から終生、池袋に住み続けた江戸川乱歩。乱歩が作成したスクラップブック「貼雑年譜」の、刊行されていない三巻以降を紹介。乱歩が撮影した映像フィルムを上映し、戦中の資料などを展示します。立ち入ることのできない土蔵内の書棚を大型パネルでご覧いただけます。



松蔭浩之による空間プロデュース



## 立教学院展示館 (立教大学内 メーザーライブラリー記念館2階)

「戦中・戦後の立教学院」  
9月14日(月)～22日(火・祝)  
10時～17時 入館無料

池袋とともに歩み、「自由の学府」として発展してきた立教学院。その戦中・戦後の姿を、近隣の様子と合わせて紹介します。



## 旧江戸川乱歩邸 (立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター)

「旧江戸川乱歩邸特別公開」  
9月14日(月)～22日(火・祝)  
10時30分～16時 入館無料

江戸川乱歩が、昭和9年から、70歳で死去する昭和40年まで、約30年間暮らした家です。書庫として使用された土蔵、応接間や愛用品に加え、少年探偵団シリーズなど、おもに戦後に発表された作品を中心とした特別展示を行います。



## 豊島区立郷土資料館 (豊島区立勤労福祉会館7階)

「池袋ヤミ市と戦後の復興《秋の収穫資料展》」

9月14日(月)～11月29日(日)  
9時～16時30分 9/14～9/22は無休  
(以降毎週月曜・第3日曜・祝日・10/13・11/24は休館)

戦後の池袋駅周辺復興の道筋を、池袋ヤミ市のジオラマ模型、関係資料、写真等を用いて紹介します。(展示みどころ解説9/26、10/24、11/28の14:00～14:40)



## ミステリー文学資料館 (光文社ビル1階)

「没後50年一不滅の江戸川乱歩展」  
9月1日(火)～10月3日(土) 9時30分～16時30分(入館は16時まで)  
9/14～9/22は無休(以降毎週日曜・月曜・祝日は休館) 入館料300円  
※9/14～9/22の期間中パンフレット提示にて入館無料。

没後50年を経ても今なお読みつがれ、映画・舞台・アニメに取り上げられ続ける、江戸川乱歩作品。その魅力の源泉を、横溝正史・高木彬光ら同志たちとの交歓を通じて探っていきます。明智小五郎が初めて登場する「D坂の殺人事件」の草稿も公開します。

## 新文芸坐 (マルハン池袋ビル3F)

●第1部 戦後日本の歩み、11の断面  
7月26日(日)～8月8日(土)  
『実録・連合赤軍』『日本のいちばん長い日』『映画 日本国憲法』など上映  
●第2部 日本の戦争/今こそ、反戦平和の誓いをこめて  
8月12日(水)～25日(火)  
『真空地帯』『軍旗はためく下に』『激動の昭和史 軍閥』『黒い雨』『ひめゆりの塔』など上映  
●第3部 焼け跡、やみ市、復員兵、基地……/戦後の風景と人々の暮らし  
9月12日(土)～18日(金) 『仁義なき戦い』など上映  
一般1,300円/シニア1,050円/学生500円/豊島区在住・在勤1,050円  
◇お問い合わせ:03-3971-9422 www.shin-bungeiza.com

## 立教大学

シンポジウム「戦後池袋の検証—ヤミ市から自由文化都市へ—」

9月12日(土) 14時～16時太刀川記念館3F 多目的ホールにて要事前申込み。先着150名。http://s.rikkyo.ac.jp/ikebukuroまで。

講師:川本三郎氏(評論家)、マイク・モラスキー氏(早稲田大学教授)

吉見俊哉氏(東京大学教授)

司会:石川巧(立教大学文学部教授)

日本の都市文化・大衆文化をこよなく愛す3名の研究者とともに、戦後70年という地点から池袋の歴史と魅力に迫り、「自由文化都市」としての未来を考えます。

## 婦人之友社・自由学園明日館

「雑誌『婦人之友』に見る市民生活」

9月15日(火)～22日(火・祝)  
10時～16時(入館は15時30分まで)  
入館料400円・月曜休館

激しい空襲で焼け野原となった池袋。奇跡的に残った婦人之友社と自由学園明日館からは、池袋駅が一望できたという。戦時中も発行を続けた『婦人之友』の誌面から、昭和20年の市民生活を紹介します。



## 池袋西口公園イベント

# ヤミ市風 自由市場

開催日時 9月18日(金) 15時～20時  
19日(土) 11時～20時  
20日(日) 11時～19時

## 池袋西口 ホッピー祭り

1948年(昭和23)に東京赤坂で生まれたホッピーは、ヤミ市の時代に焼酎割りとして愛飲され、復興をめざす大衆を支えました。会場では、珍しい樽詰めホッピーや、ホッピーを使用した本イベントオリジナルカクテルなどを提供します。地元池袋の商店街等の協力をえた飲食テントのほか、ヤミ市が鉄道各社による物資運搬等に支えられたことに鑑みて、豊島区の友好都市物産展等で盛り上げます。



## 池袋 昭和懐メロステージ

9月18日(金) 16時～20時  
19日(土) 12時～20時

歌謡曲、オールディーズ、ジャズ、カントリー、ブルースなど、戦後を彷彿させる音楽が昭和の世界へ誘います。

出演者	
塩谷 晃とコナ・アイランダース	Hawaiian
KHAMSHIN (カムシン)	Oldies Music
加藤町会長バンド	Country Western
やなかもなか	アイドル
谷名寛二郎	Funk
イツフオーリーズ	Rock
You-Yu Bounce	Jazz/Pops
東京シネマパラダイスオーケストラ	昭和歌謡
キミノラ	Blues
Eriko	昭和歌謡
crispy sounds	Tap Dance

## 池袋 昭和歌謡 のど自慢2015

9月20日(日) 12時～19時

「昭和歌謡」をコンセプトとした素人カラオケ大会。優勝賞金5万円の他、パフォーマン스에秀でた出場者にも賞金・記念品を多数用意。

出場希望者は、申込用紙を事前に事務局まで郵送。(応募者多数時は事務局にて出場者を選定)

参加費:3,000円  
募集期間:8月1日～31日  
募集人数:80名  
カラオケ機種:LIVE DAM STADIUM  
プロデュース:エンジョイシング  
日本で唯一のカラオケ評論家®  
唯野奈津実

◎池袋昭和歌謡のど自慢2015特設サイト  
http://s-nodojiman.com/  
◎池袋昭和歌謡のど自慢お問い合わせ先  
ike@s-nodojiman.com 担当:唯野(ゆいの)